

平成29年度大学院地球社会統合科学府

修士課程（夏季）入学試験

入学試験問題

⑩ 自然人類学

注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

1. 以下の用語のうち5つを選んで5行以内で解説しなさい。(各20点、合計100点)  
遺传的浮動 遺伝子流動 自然選択 遺伝距離 DNA分析 新町遺跡 渡来系弥生人  
朝鮮系無文土器
  
2. 以下の質問のうち、2問を選んで解説しなさい。(各50点、合計100点)
  - 1) 縄文時代から弥生時代への移行問題に関する議論について、考古学、形質人類学それぞれの視点から、およびそれらを接合した視点から詳述しなさい。
  - 2) 古人骨から抽出できる「環境の影響を受ける形態」、「環境の影響を受けにくい形態」をそれぞれ列挙し記述しなさい。そして、このような形態・形質の分析から、何が明らかにできるのかを詳細に解説しなさい。
  - 3) 古代人の生活、例えば、生業、食性、風習、健康状態、寿命等を考察する上で、骨や歯から得られる有益な情報と、その分析手法について解説しなさい。